

市民栄誉章受章者

○黒田幹一（1882年～1988年）鶴海

大学教授、考古学者、政治家 1987年受章



黒田 幹一 氏

関西中学校、第六高等学校を経て東京帝国大学
文科大学独逸文学科に学び、1919年京城医学
専門学校助教授となり、朝鮮総督府通訳間を兼ね
ました。その後京城帝国大学教授を経て1940
年同予科部長・副学長として終戦時まで勤務。そ
の傍ら考古学者として中国古代貨幣の研究を重ね
「硬貨和同開珎」「斑鳩の海」「倭の女王と大和朝廷」
など41編の著書を著しました。帰国後1947年
から備前町合併まで2期8年間、邑久郡鶴山村長
を務めました。

○有吉道夫（1935年～2022年）穂浪
将棋棋士 2001年受章



有吉 道夫 氏

大山康晴15世名人門下、棋聖タイトルの他優勝
9回、タイトル戦の舞台での大山との師弟対決は
4度実現。現役55年を数え、2001年には史上
6人目の1000勝を達成。順位戦A級在籍21期、
2010年引退。生涯公式記録1086勝100
2敗。

○重友梨佐（1987年～）香登本
マラソン選手 2017年受章



重友 梨佐 氏

備前中学校から興譲館高校を経て天満屋女子陸
上部に所属。興譲館高校では主将として、京都を
走る女子高校駅伝に優勝。2012年の大阪国際
女子マラソン大会で優勝し、2012年ロンドン
オリンピックに出場しました。

○山本由伸（1998年～）浦伊部
野球選手 2021年受章



山本 由伸 氏

備前中学校から宮崎県の都城高等学校へ入学。
オリックスバッファローズから2016年ドラフ
ト4位指名を受け入団。第2回WBS Cプレミア
12で日本代表に本格デビューし、日本の大会初優
勝に貢献。2019年シーズンに最優秀防壁率の
タイトルを獲得しました。

2021年東京オリンピック野球で日本代表
チームに選出、金メダルを獲得しました。

○小松原美里（1992年～）閑谷
○小松原 尊（1991年～）アメリカ合衆国
フィギュアスケート（アイスダンス）選手
2022年受章



小松原 美里 氏



小松原 尊 氏

2022年北京オリンピック・フィギュアス
ケート団体で、小松原組がアイスダンスで出場。
銀メダルを獲得しました。2020年NHK杯国
際フィギュアスケート競技大会アイスダンス日本
人初の優勝。全日本フィギュアスケート選手権、
優勝5回。